



特定非営利活動法人 外国人介護人材研究所

特定非営利活動法人外国人介護人材研究所（FCL）とは Foreigner Caregiver Laboratory の略で、労働人口が減少する日本社会において、外国人介護人材が介護現場に安定的に採用され、定着できるしくみを支援する組織です。

平成 31 年 4 月に出入国管理および難民認定法の一部改正により、新しい在留資格「特定技能」が創設されました。介護分野は他の 13 業種に先駆けてフィリピンにおいて特定技能の試験が実施され受験者の 74.3%のフィリピン人が合格しています。今後定期的な試験が実施されると共にネパールやミャンマーなどの受入対象国でも順次実施される予定です。特定技能による介護士の受入は6万人ですが、達した時点で終了となります。今後の人材不足が加速していく令和時代においては、早期に外国人介護士を採用し、定着できる体制作りが求められます。しかしながら、介護福祉業界では、動きが緩慢で、外国人を雇うことに不安を感じて、採用活動に消極的になっていたり、掛かる経費を負担だと考えたりしていますが、人材不足は待たなしの状況であり、一番の経営リスクと言えます。このままでは現在のサービス提供体制は崩壊の一途を辿ることになりかねません。まだ余裕があるときにこそ外国人介護人材の登用をすべきであり、時間をかけて絆を作るべきだと考えます。

当研究所の強みは「EPA 介護福祉士候補者の支援で培った経験」であり、外国人採用をこれから始める事業者、また採用したものの定着しないなどの諸問題を経営者の視点に立って、アドバイスできることです。外国人採用において大切にしていること、事業者本意ではなく、外国人の気持ちを考えた採用戦略を策定していくことです。採用後は日本語教育、日本の文化、習慣、介護技術の習得、生活支援などを本人の自主性を重んじながら、育成してきました。この経験を基に、これから外国人介護人材を登用しようとお考えの事業者様のお手伝いをさせていただこうと考えております。EPA 介護福祉士候補者、留学生、技能実習生、特定技能外国人などを採用戦略に加えたい、受け入れ体制をどうしたら良いかわからない、外国人用の業務の組み立てがわからないなど、ご検討中の事業者の方がいらっしゃいましたら、何なりとお問い合わせいただけたら幸いです。

特定非営利活動法人 外国人介護人材研究所
理事長 武石直人

【事業概要】

1 講演活動

業界団体などが主催するセミナーなどの講演、講義を行います。

- ・外国人介護人材の活用
- ・外国人介護士の受入体制を考える
- ・外国人材を軸とした成長戦略

2 経営支援事業

EPA、技能実習生、留学生の資格外活動および在留資格「介護」、特定技能外国人などの外国人介護人材を登用するための採用戦略の策定や各種定着支援のお手伝いをいたします。

3 業務委託

業務の一部をアウトソーシングしたい事業者様のニーズにお応えして、業務が行えない事業所の担当者様に代わって業務を行います。

4 経営相談

外国人採用について、どのように進めていいかわからないなど、経営者の良き相談相手として、事業に関する悩みの解決をお手伝いします。

5 情報提供活動

社会福祉施設や介護事業所の一番の経営課題である人材リスクについて、その情報を Facebook ページ 外国人介護人材情報 を用い、情報提供いたします。

6 その他関連事業

外国人採用に限らず、その他事業経営に関する様々な問題についてお手伝いをいたします。